

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	下水道推進課長 土肥 美実	電話番号	0852-22-5932
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	流域下水道整備事業		
目的	(1) 対象	流域下水道利用者	
	(2) 意図	流域下水道を正常に運転し、下水道利用者に快適な生活を提供する。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 穴道湖流域下水道東部・西部処理区の下水道利用者の各処理区の流入水量の増加に対応するため施設・設備の整備を行う。 ・ 穴道湖流域下水道東部及び西部処理区内住民の快適な生活環境の実現に向けて建設事業を進めるため事業計画の申請を行う。 ・ 穴道湖流域下水道東部及び西部処理区内住民の快適な生活環境を継続するため、老朽化した施設の改築更新を行う。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	処理人口	目標値	260,500.0	263,000.0	265,500.0	267,500.0	人
	式・定義	穴道湖流域下水道全体計画の処理人口を基に設定	取組目標値					
			実績値	256,771.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	753,295	853,920
うち一般財源 (千円)		

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	① 順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成27年度末の目標値は258,000人に対し実績値256,771であった。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

・ 流入水量の増加に対応するための施設、設備整備を順調に実施している。
 ・ 平成27年度末の汚水処理人口は、平成26年度よりも上昇しており、おおよそ目標値に近い実績値であった。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ① 困っている「状況」
 東部浄化センターおよび西部浄化センターにおいて老朽化の懸念がある。
- ② 困っている状況が発生している「原因」
 ・ 東部浄化センターは供用開始後35年経過している。
 ・ 西部浄化センターは供用開始後27年経過している。
- ③ 原因を解消するための「課題」
 ・ 流域関連公共下水道管理者の整備計画と、今後の汚水処理量を把握する必要がある。
 ・ 東部、西部浄化センターにおいて、施設の老朽化や機能低下度合いの点検調査が必要。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・ 今後も流域関連公共下水道管理者である関連市と連携しながら、下水道利用予定者の増加に対応した施設整備を進めて行く。
 ・ 点検調査した結果に基づき、次期長寿命化計画 (現計画はH28まで) を作成し適切に施設更新を進めて行く。

・ 課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・ 上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)